

授業科目	*臨床基礎医学実習				実務家教員担当科目	○					
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	高崎 智子										
授業概要	<p>実務家教員として、長年病院に勤務した医師としての臨床経験を活かし、実習を行う。</p> <p>管理栄養士が、医療の現場において、また一般の集団や個人を対象に栄養管理・栄養指導を行う場合、対象者の栄養状態および健康状態を把握した上で、栄養管理や指導内容を設定することが重要である。本実習では、栄養状態および健康状態を把握するために必要な生理・生化学的検査を実際に体験し、その検査の意義について解説する。加えて、医療スタッフとしての管理栄養士を目指すために、基本的な医療面接、身体診察法などを学び、医療現場の実際を理解する。</p>										
授業形態	講義・実習			授業方法	実習						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 健康状態を把握するために必要な面接法、診察法を習得し、病気の症候について説明できる。(DP2-1)</p> <p>2. 栄養評価に必要な検査法を習得し、その栄養評価上の意義を説明できる。(DP1-2)</p> <p>3. 心電図や血糖値などの生理・生化学的指標を理解し、その検査結果の意味、および疾病に特徴的な異常所見や検査異常を説明できる。(DP2-1)</p>										
理想的レベル	<p>標準的レベル1~3をすべて達成した上で、</p> <p>4. 病歴や臨床検査値の結果から、症例の病態を評価し、病気の診断・治療方法を考察できる。(DP3-1、DP4-2)</p> <p>5. 他の保健・医療従事者と連携して疾病予防・治療に貢献する方法を説明できる。(DP3-1)</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験											
小テスト											
レポート	80%										
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他	20%			実習に積極的に参加する、疑問点を質問する、などの授業態度							
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NT11410J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
レポート作成。課題の内容については、実習の中で提示する。										0	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：オリエンテーション</p> <p>感染症の予防対策、および実習の内容、準備、レポート作成について、説明する。</p> <p>手洗いチェッカーを使って、手洗いの精度を視覚的に確認する。</p>										

第2回	<p>テーマ：身体診察所見のとり方</p> <p>診察所見のとり方、聴診器等の診察器具の使い方を体験し、人体の構造と正常所見・異常所見について学ぶ。</p>
第3回	<p>テーマ：心電図検査</p> <p>12誘導心電図の検査方法、読み方を解説し、検査を体験する。正常心電図および不整脈等の異常心電図所見について学ぶ。</p>
第4回	<p>テーマ：運動負荷心電図検査</p> <p>運動負荷心電図の検査方法、読み方を解説し、階段昇降運動による負荷心電図検査を体験する。虚血性心疾患の病態、心電図所見について学ぶ。</p>
第5回	<p>テーマ：救命救急法</p> <p>救命救急法、AEDの取り扱い方を解説し、体験する。心室頻拍、心室細動、死戦期呼吸などについて理解し、一次救命の重要性を学ぶ。</p>
第6回	<p>テーマ：75g糖負荷試験と血糖コントロール</p> <p>75g糖負荷試験の検査方法、およびその結果の解釈について解説する。糖負荷試験を体験し、血糖コントロールシステムについて学ぶ。</p>
第7回	<p>テーマ：症例検討1</p> <p>モデル症例を呈示し、病歴、身体所見、検査所見から病態を診断し、治療法（食事療法を含めて）について検討・討議する。</p>
第8回	<p>テーマ：症例検討2</p> <p>モデル症例を呈示し、病歴、身体所見、検査所見から病態を診断し、治療法（食事療法を含めて）について検討・討議する。</p>
第9回	<p>テーマ：血圧脈波検査</p> <p>動脈硬化の指標である血管の硬さ（血管年齢）や血管のつまり具合を測定する方法を解説し、検査を体験する。動脈波伝播速度と動脈硬化との関係について学ぶ。</p>
第10回	<p>テーマ：腹部超音波（エコー）検査</p> <p>腹部超音波（エコー）の検査方法および診断方法を解説し、検査を体験する。超音波によって評価可能な臓器や疾患について学ぶ。</p>
第11回	<p>テーマ：骨密度検査（超音波法）</p> <p>骨密度の測定方法、およびその結果の解釈について解説する。超音波による骨量測定装置を使って検査を体験し、骨粗しょう症等の骨代謝異常について学ぶ。</p>
第12回	<p>テーマ：乳がん検診</p> <p>乳房触診モデルを使って自己触診を体験し、乳がんの基礎知識や乳がん検診、および早期発見の重要性について学ぶ。</p>
第13回	<p>テーマ：認知症検査</p> <p>認知症の種類や症状、検査について解説し、早期発見のために医療現場で導入されているスクリーニング検査を体験する。認知症を疑う特徴的な症状や対応等について学ぶ。</p>
第14回	<p>テーマ：禁煙、節酒指導</p> <p>生活習慣を改善するための支援のポイント、および効果的な支援方法について検討・討議する。</p>
第15回	<p>テーマ：実習のまとめ</p> <p>臨床基礎医学実習の総括をする。それぞれの実習の意義を解説し、実習内容における重要点を再確認する。</p>

テキスト	各テーマについて、実習内容・方法をプリントして配布する。 2年次の疾病診断治療学Ⅰ・Ⅱで使用した教科書、配布資料。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	「糖尿病治療ガイド」 日本糖尿病学会 編・著 (文光堂) 「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック 第5版」 奈良信雄 著 (医歯薬出版)
課題に対するフィードバックの方法	実習時間内にレポートを作成し、その後、レポート課題についての解答例を解説する。 提出されたレポートは、コメントを付けて次回の実習時に返却する。
学生へのメッセージ・コメント	臨床基礎医学実習では、これまで学んできた解剖生理学、生化学、病理基礎医学、疾病診断治療学Ⅰ・Ⅱを基に、管理栄養士として必要な基礎・臨床医学の実習を行う。したがって、これらの科目の内容を理解した上で臨むことが必要である。 以下の姿勢を持って、自ら学びを深めることを目指していただきたい。 1. 自分や家族などが経験するであろう検査や病態であるという関心を持つ。 2. 疑問点を図書館やインターネットで調べる。 3. 信頼できる正しい情報を得る。

